

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： BRST-134

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
乳がん	dose-dense EC療法	14日間	4コース	<input type="checkbox"/> 進行/再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet 385: 1863-72, 2015

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓													
②	エピルピシン 生理食塩液	90mg/m ² 100mL	点滴静注	10分	↓													
③	エンドキサン 生理食塩液	600mg/m ² 250mL	点滴静注	30分	↓													
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓													
⑤	ジーラスタ	3.6mg	皮下注			↓												

<注意事項/備考>

- ✓ 催吐リスク：高リスク：NK1受容体拮抗薬、DEX、5HT3拮抗薬併用
- ✓ 点滴終了24時間経過後に、ジーラスタを投与（day2-3が目安）
- ✓ EPI：全量150mLになるように調製（全量≧150mLになる場合）
- ✓ EPI：投与後1-2日間尿の着色（赤色）
- ✓ EPI：総投与量900mg/m²以上で心毒性のリスク増大、既往歴を含め総投与量の確認



:>>

4

--

